

敦賀発電所 1 号機の動作不良制御棒の点検調査状況について

当社、敦賀発電所 1 号機（沸騰水型軽水炉：定格出力 3 5 万 7 千 kw）は、1 0 月 2 0 日より定格出力にて運転中、定例の制御棒駆動系の試験を行っていたところ、制御棒 7 3 本のうちの 1 本が作動しないことが判りました。このため、規定に基づき当該制御棒の制御ユニットを隔離し、運転継続にあたって原子炉安全上問題ないことを評価・確認するとともに、制御ユニットの制御電磁弁の動作確認等の調査を行ってきましたが、原因を特定できなかったことから、1 0 月 2 4 日 1 8 時から出力降下を開始（同日 2 3 時頃発電停止）し、翌 2 5 日 6 時原子炉を停止し制御棒や制御棒駆動系の点検調査を行うこととしました。

なお、この事象による周辺環境への放射能の影響は有りません。

（1 0 月 2 4 日記者発表済）

原子炉停止後、原子炉圧力容器ふたを開放した後、当該制御棒まわりの 4 体の燃料集合体に隣接する燃料集合体 3 2 体を取り出し、当該制御棒を周辺から水中カメラにより観察した結果、制御棒ブレード 4 枚のうち 1 枚で膨らみ状の変形があり、燃料集合体チャンネルボックスと干渉していることが確認されたとともに、当該ブレード上部に微小な線状模様が認められました。

今後、引き続き原因究明のための調査を行います。

以上

（通商産業省の I N E S * による暫定評価）

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
—	—	0	0

* I N E S : 国際原子力事象評価尺度

【用語解説】

・制御棒駆動系とは。

原子炉の起動・停止等を行うため制御棒を水圧にて駆動する装置で、敦賀発電所 1 号機の場合、7 3 本設置されている。

図－１ 制御棒状況図

図－２ 炉心配置図・制御棒（タイプ２）構造図

図－３ 制御棒（タイプ１）構造図

図-1

制御棒状況図

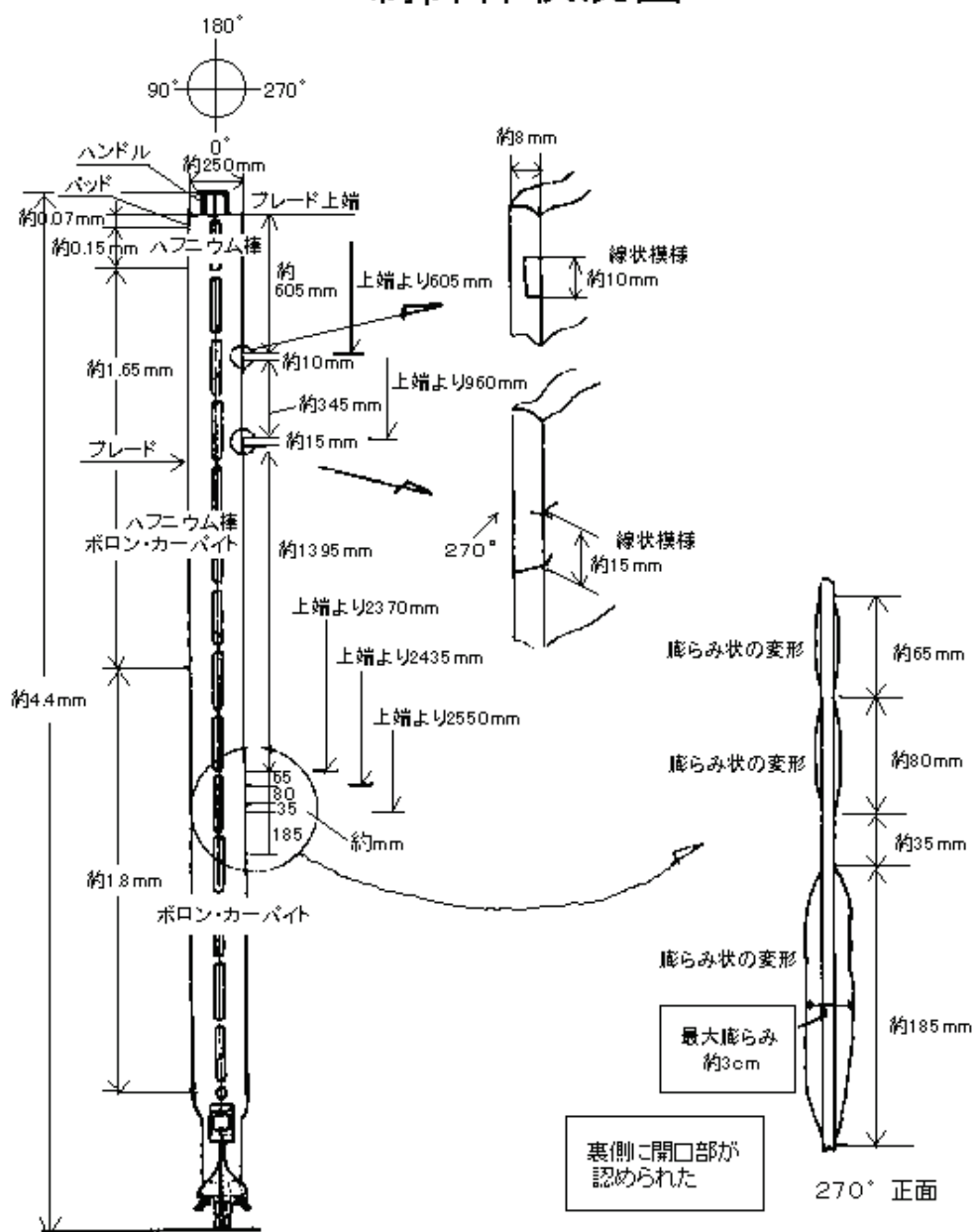
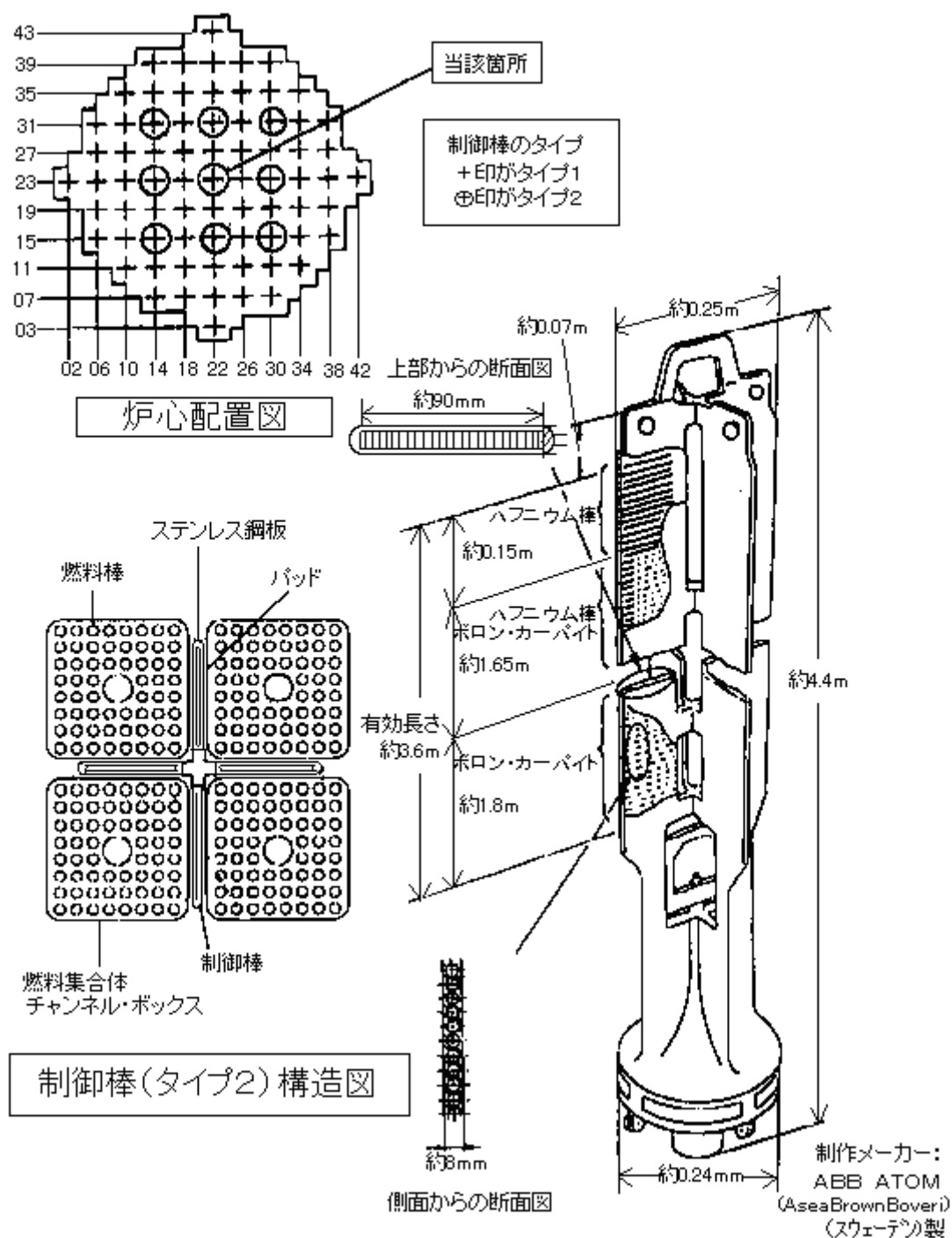


図-2



制御棒（タイプ1）構造図

